

★ 文中の ATOLL X/S/C/D 表記には ATOLL + シリーズも含まれております。★

# SONY

- ※ATOLL X は直径 90mm を超えるレンズは装着できません。
- ※ATOLL S は直径 63.5mm を超えるレンズは装着できません。
- ※ATOLL のツウエイブレードはカメラに装着するため、レンズ径が大きすぎてカメラ底面を越える場合は ATOLL X に装着できません。
- ※望遠レンズも装着可能です。(バランスを良くするため、望遠レンズには専用の三脚座をご使用ください)
- ※一部のマニュアルレンズは口径が大きく取り付けできない場合があります。
- ※レンズリリースボタンは ATOLL によって覆われます。最適な指のスペースを確保するために、ATOLL の前後の位置を調整してください。
- ※Sony  $\alpha$  シリーズのカメラ ( $\alpha$ 7S/ $\alpha$ 73/ $\alpha$ 7R3 など、またはそれ以前のカメラ) はボディが非常にコンパクトなため、指とカメラグリップの間のスペースが影響を受けます。指が大きい方や手袋を着用している場合、スペースはより制限されますので ATOLL の前後位置を調整して最適なスペースを確保する必要があります。
- ※テレコンバーターレンズには対応していません。

ソニーカメラ機種	ATOLL				ハイトニングプレート	備考
	X	S	C	D		
$\alpha$ 6000/ $\alpha$ 6300/ $\alpha$ 6500		○			おすすめします	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<math>\alpha</math>6XXX &amp; ZV-E10 シリーズのカメラは高さが低いいため、調整スペースを増やすためにハイトニングプレートのご使用をお勧めします。</li> <li>●Sony LA-EA5 アダプター、Metabones アダプター、またはリストにないその他のアダプターは装着できません。</li> <li>●Sigma MC11 アダプターは装着可能ですが、Sony E システム カメラで MC11 をご使用の場合は、ATOLL をカメラに近づけるように調整する必要があります。</li> </ul>
$\alpha$ 6100/ $\alpha$ 6400/ $\alpha$ 6600/ $\alpha$ 6700		○			おすすめします	
ZV-E10		○			おすすめします	
ZV-E1/FX30/FX3/ $\alpha$ 7C	○	○				
$\alpha$ 7/ $\alpha$ 7II/ $\alpha$ 7III/ $\alpha$ 7IV/ $\alpha$ 1/ $\alpha$ 9/ $\alpha$ 9II	○	○				
$\alpha$ 7R/ $\alpha$ 7RII/ $\alpha$ 7RIII/ $\alpha$ 7RIV/ $\alpha$ 7RV	○	○				
$\alpha$ 7S/ $\alpha$ 7SII/ $\alpha$ 7SIII	○	○				

# CANON

- ※ATOLL X は直径 90mm を超えるレンズは装着できません。
- ※ATOLL C/ATOLL D は直径 75mm を超えるレンズは装着できません。
- ※Canon RF マウントの推奨最大装着可能レンズは RF 70-200 f/2.8 です。
- ※キヤノン EF マウントの推奨最大装着可能レンズは EF 16-35 F/2.8L II です。
- ※EF16-35F/2.8L III、EF24-105 F/4L、EF24-70 F2.8 L II 以上の径のレンズも装着可能ですが、ATOLL との間隙が非常に小さく、レンズに傷が付く可能性がありますので、ご使用はお勧めできません。
- ※Canon R3にATOLL を装着した場合、バッテリーグリップの関係でカメラアダプターから離れた位置になります。
- ※EF-RF アダプターを使用すれば ATOLL C にも対応します。
- ※ドロップインアダプターを使用する場合は ATOLL D をご使用ください。それ以外では使用できません。
- ただし、ATOLL D を搭載しているため RF レンズを取り付けることはできません。アダプターを使用する場合と使用しない場合がある場合は ATOLL C を選択し、延長クイックシューのご使用をお勧めします。
- ※ATOLL C と ATOLL D の本体は同じです。違いはクイックシューの長さです。ATOLL C のクイックシューを延長クイックシューに交換すると ATOLL D になります。
- ほとんどの TS シフトレンズは ATOLL と互換性がありません。ただし、Canon RF シリーズのカメラを使用し EF-RP アダプターを介して TS レンズを取り付ける場合は、ATOLL を装着することができます。

キヤノンカメラ機種	ATOLL				ハイトニングプレート	備考
	X	S	C	D		
R/R5/R6/R6II	○		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>●EF-RF アダプター使用可能</li> <li>●ATOLL C を使用する場合、コントロールリングアダプター&amp;ドロップインフィルターマウントアダプターなど記載されていないアダプターは使用できません。</li> <li>●ATOLL D を使用する場合、ドロップインフィルターマウントアダプターが使用できます。</li> </ul>
R3	○					
RP/R7/R10/R8			○		必要です	
Kiss X4/X6i/X10i/8000D/9000D				○	必要です	
50D/60D/600D/70D/80D/90D/7D/7DII	○			○		ATOLL D はレンズ中心に完全に合わせることができず、EF11-24 f/4 & EF16-35 F/2.8 III & EF24-70 f/2.8 II 以上のレンズは装着できません。
6D/6DII	○			○		
5D/5DII/5DIII/5DIV/5DS/5DSR 1D IV/1DX III	○			○		EF 11-24 f/4 & EF16-35 f/2.8 III & EF24-70 f/2.8II 以上のレンズのズームリングは ATOLL と干渉する可能性があるため推奨しません。

★ 文中の ATOLL X/S/C/D 表記 には ATOLL + シリーズも含まれております。★

# NIKON

- ※ATOLL X は直径 90mm を超えるレンズは装着できません。  
 ※ATOLL C/ATOLL D は直径 75mm を超えるレンズは装着できません。  
 ※Nikon Z マウントの推奨最大装着可能レンズは Nikon 24-70mm f/2.8S です。  
 ※FTZ で使用する場合、ATOLL はカメラではなく FTZ に取り付けます。FTZ で使用する場合は ATOLL C でのみ使用可能です。  
 ※FTZ II と併用する場合は、ATOLL をカメラに装着します。FTZ II を使用する場合は、ATOLL C または ATOLL D で使用できます。  
 ※ATOLL X では Z70-200mm f/2.8 (直径 = ø89mm) は三脚座ノブが ATOLL X に対してブロックされているため取り付けられません。

ニコンカメラ機種	ATOLL				ハイトニングプレート	備考
	X	S	C	D		
Z5/Z6/Z6II/Z7/Z7II	○		○		ATOLL C では ご使用を おすすめします	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ATOLL D で使用する場合と比較して、ATOLL C で使用する場合は小型軽量化がメリットですが、レンズ上のファンクションボタンの操作スペースが狭くなるデメリットがあります。</li> <li>●ATOLL C を Nikon Z シリーズ カメラのレンズ中心に合わせるには ハイトニングプレートをご使用ください。</li> <li>●ATOLL C 単体ではレンズの中心を完全に合わせる事ができませんが、Nikon Z 14-24 f/2.8 &amp; 24-70 f/2.8 など Z シリーズのほとんどのレンズが装着可能です。</li> <li>●FTZ II アダプターと互換性があります。</li> <li>●ATOLL は FTZ アダプターではレンズ中心を完全に合わせる事ができず、NIKON 以外のレンズが装着できない場合があります。</li> </ul>
Z8/Z9	○					
Z5/Z6/Z6II/Z7/Z7II				○	必要です	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ATOLL C で使用する場合と比較して、ATOLL D で使用する場合はサイズと重量が大きくなるというデメリットがありますが、レンズ上のファンクションボタンの操作スペースが大きくなるというメリットがあります。</li> <li>●ATOLL D ではレンズ中心に完全に位置合わせることができ、Nikon Z 14-24 f/2.8 &amp; 24-70 f/2.8 などのほとんどの Z シリーズレンズを取り付けることができます。</li> <li>●FTZ II アダプターと互換性があります。</li> <li>●ATOLL は FTZ アダプターではレンズ中心を完全に合わせる事ができず、NIKON 以外のレンズが装着できない場合があります。</li> </ul>
Z30/Z50/Zfc			○		必要です	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Nikon Z 14-24 f/2.8 および 24-70 f/2.8 などのほとんどの Z シリーズ レンズを取り付けることができますが、ATOLL とレンズの中心を完全に合わせる事ができません。</li> <li>●FTZ II アダプターと互換性があります。</li> <li>●ATOLL は FTZ アダプターではレンズ中心を完全に合わせる事ができず、NIKON 以外のレンズが装着できない場合があります。</li> </ul>
D80/D90/D300/D300S/D500	○			△		<ul style="list-style-type: none"> <li>●ATOLL D を装着すると Nikon DSLR は F2.8 のレンズ (大三元レンズ) やより大きな口径のレンズを使用できなくなります。F2.8 のレンズまたはそれより大きな直径のレンズを取り付けたい場合、ユーザーは ATOLL D をカメラアダプターに近づける必要があります。D750 または D800 シリーズを除く他のすべての Nikon DSLR フラッシュが干渉し、ATOLL D をカメラアダプターに近づけると 135 度までしか回転できません。D300/D500/D800 シリーズおよび D700 は、F2.8 のレンズではレンズ中心を完全に合わせる事ができず、レンズが擦れてしまう恐れがあります。</li> <li>●ATOLL X でのご使用を推奨いたします。</li> </ul>
D7000/D7100D/7200/D7500	○			△		
D600/D610/D700/D750/D780	○			△		
D800/D800E/D810/D850	○					

# FUJIFILM

富士フィルムカメラ機種	ATOLL				ハイトニングプレート	備考
	X	S	C	D		
XH1/XT2/XT3			○		必要です	<ul style="list-style-type: none"> <li>●レンズの中心に完全に合わせる事ができませんが、ほとんどの富士フィルムレンズで動作します。</li> <li>●XT5 のバッテリーカバーは ATOLL で塞がれてしまうため、バッテリーを交換できません。</li> </ul>
XT4/XT5/X-H2S				○	必要です	
GFX50S/GFX50SII/GFX50R/GFX100S	○					

★ 文中の ATOLL X/S/C/D 表記 には ATOLL + シリーズも含まれております。★

## PANASONIC

パナソニックカメラ機種	ATOLL				ハイトニング プレート	備考
	X	S	C	D		
GX8/GX9/G8			○		必要です	●ATOLL はレンズの中心に完全に合わせることはできませんが、ほとんどのパナソニック レンズで動作します。
G85/G9/GH5/GH5 II/GH6				○	必要です	
S5			○		必要です	
S1	○			○		

## LEICA

ライカカメラ機種	ATOLL				ハイトニング プレート	備考
	X	S	C	D		
SL/SL2	○		○			

## OLYMPUS

オリンパスカメラ機種	ATOLL			ハイトニング プレート	備考
	S	C	D		
EM5 II/EM5 III		○		必要です	●ATOLL はレンズの中心を完全に合わせることはできませんが、7-14、12-40、40-150mm f/2.8 レンズでは動作します。 モデル OM1 と EM1 はグリップが大きいため、ATOLL とカメラの間の指のスペースが狭くなります。握り心地が悪いためお勧めしません。 ただし、場合によっては、ATOLL が OM1/EM1 で動作することもあります。

## Hasselblad

ハッセルブラッドカメラ機種	ATOLL				ハイトニング プレート	備考
	X	S	C	D		
X1D-50c/X1D II 50C/X2D 100C	○					